

2005.11月号

NIPPON GOOD PARTS

NGP NEWS

No.175

エンドユーザー、整備事業者、NGP協同組合 3者の自動車リサイクルを結ぶ新たなサービス

「くるマック」を全国展開

NGP協同組合では、エンドユーザーに向けたインターネットを介してのサービス提供窓口として「くるマック」ネットワークを発足しました。

「くるマック」は、NGP協同組合が、新たなリサイクル時代の創造に向けた戦略として、情報化社会における、エンドユーザーに対しての自動車リサイクル関連のサービス提供と情報発信機能として展開を図るまったく新しい自動車リサイクルのためのシステムです。

主なサービスメニューとしては、まず始めに取組みを開始するのが「廃車見積サービス」と「廃車引取サービス」です。

これは本年自動車リサイクル法が施行

され、使用済自動車の適正処理の仕組みが稼働しましたが、エンドユーザーの法の認知度、理解度は不十分であり、“廃車処理はどこに相談したら安心で、適法で、適正価格で処理をしてくれるのか困惑をしている”という背景から、エンドユーザーに対して、自動車を廃車する時のお手伝いをNGP協同組合が適正処理業者として責任を持って行うサービスです。

また引取業者である整備事業者の方々にとってもエンドユーザーからの廃車に関するお問い合わせや手続きなど、アドバイスができるサービスとしてご利用いただけるものとなります。

リサイクル法施行後も使用済自動車の流通は「BtoB」の商域からなかなか脱却できない業界体質がありました。

しかし、今回の「くるマック」の展開により「BtoC」(エンドユーザーと解体業者)という、より良い・よりやさしい・より迅速なサービスを直接エンドユーザーに提供できる、まさに時代に即したサービスができる仕組みを構築しました。

これによりエンドユーザーに対しての新しい営業窓口を展開していくと同時にリサイクル部品検索サービス、リサイク



ル部品活用推進工場紹介サービス等のサービス提供体制を構築し、NGP各社がエンドユーザーに身近なリサイクル関連総合サービスの提供が可能となるよう拡大展開を図り、エンドユーザーと整備業者、解体業者の三者を結び、円滑に自動車リサイクルシステムを動かすための潤滑油として「くるマック」を通じて、自動車リサイクルの啓蒙活動にも努めてまいります。

そのためには、まずユーザーの利便性を第一に考え、整備事業者の業務支援、そしてNGP各社の事業基盤拡大、社員育成、強化等の個社個社のレベルアップにつながるよう地道に成果を積み上げていき、均一で高品質なサービス体制の構築と認知度向上に向けて組合員一致協力して取り組んでいきます。



第2四半期の使用済自動車の引取台数は3ヶ月で70万2千台

自動車リサイクル促進センターは去る10月5日に、2005年度第2四半期(7~9月)の自動車リサイクルシステムの運用状況について発表しました。

リサイクル料金の預託状況は約977万台(内、新車登録時143万台、車検時約773万台、引取時約61万台)年度累計では約1,971万台、年間累計では約2,964万台のリサイクル料金が預託されました。金額ベースでは今期の預託金額が929億円、年度累計1,853億円、年間累計で2,799億円となりました。

また、2005年7月1日以降に輸出された中古車を対象に、リサイクル料金が返還される制度が実施となり、同年9月末までに合計1,769台分、合計19・5百万円が返還されました。

一方、引取業者による使用済自動車の引取報告台数は今期70万2千台(7月/24万台、8月/23万台、9月/23万2千台)となり、年度累計で144万台、年累計では191万台となりました。

第二四半期では、若干使用済み自動車の引取台数も増加傾向にあるものの、依然として年間260万台超のペースで年間400万台あったとされる使用済み自動車の引取状況は7割弱になる見込みです。

預託状況(9月末リサイクル促進センター データ到着分)

預託種別	預託台数			預託金額(億円)		
	7月~9月	4月~9月	1月~9月	7月~9月	4月~9月	1月~9月
新車登録時	1,432,363	2,827,768	4,442,597	158	310	485
車検時	7,727,208	15,616,556	23,477,764	723	1,443	2,178
引取時	611,849	1,267,420	1,717,602	48	100	136
合計	9,771,420	19,711,744	29,637,963	929	1,853	2,799

工程別引取・引渡報告(電子マニフェスト)実施状況(9月末リサイクル促進センター データ到着分)

工程種別	引取報告件数			引渡報告件数		
	7月~9月	4月~9月	1月~9月	7月~9月	4月~9月	1月~9月
引取工程	701,849	1,437,034	1,908,091	706,430	1,452,596	1,901,906
フロン類回収工程	567,539	1,196,375	1,579,718	568,013	1,205,097	1,565,299
解体工程*1	730,945 (25,281)	1,519,522 (53,925)	1,945,162 (67,981)	731,009 (25,386)	1,510,783 (53,907)	1,885,762 (68,570)
破碎工程*1	1,135,593 (436,614)	2,349,110 (905,074)	2,891,835 (1,093,026)	1,149,836 (437,836)	2,376,709 (906,776)	2,831,615 (1,099,252)

*1()内は同一工程内の移動報告件数(内数)

フロン引取台数	504,793	1,060,515	1,226,499
エアバッグ引取台数	109,240	209,200	245,895
ASR処理台数*2	718,612	1,482,319	17,461,185

*2:非認定全部利用含む

怪しい車の引き取り拒否を経産省・環境省が通知

経済産業省と環境省の両省から、このほど、「自動車リサイクル法前に引き取られた使用済自動車の取り扱いについて」という文書を日本自動車工業会、日本自動車販売協会連合会、日本ELVリサイクル機構などの関係団体に配布されました。

その中で(a)昨年未までに中古車として下取りされ、法施行後に廃車としたもの、(b)昨年未までに有価で取引された廃車、(c)昨年未までに無料または逆有償で取引された廃車の3つのケースの場合、(a)に関して自動車リサイ

クル法に基づく処理が必要で(b)(c)に関しては既存の廃棄物処理法・フロン回収破壊法が適用となり処理が必要となります。

特に(b)(c)については、確認のため昨年未までに廃車として引取られたという売買契約書や廃車引取証、古物台帳のコピーなどの提示が必要となります(いずれも日付や車台番号の記載が条件となる)。

さらに一時抹消登録証明(軽自動車は自動車検査証返納証明)は再登録の可能性もあるため、一時抹消登録証明の日付は

証明にならないので注意が必要です。解体業者、破碎業者などは、こうした書類のない車両の持ち込みがあった場合には引き取りを拒否し、その情報を所轄の都道府県や保健所設置市に通報するように両省では、求めています。

また、関連事業者は、こうした証明書類がないのに使用済自動車を引取ると、今後、自動車リサイクル法や廃棄物処理法違反となり、許可取り消しなどの厳しい処分もあるため、必ず書類(日時が示せるもの)があることを確認するようにしましょう。

第18回経営者研修会 NGPの仲間意識を学ぶ

NGP教育情報委員会は去る9月7日から10日までの4日間、「第18回経営者研修会」をvivi熱海自然郷で開催しました。

今回の研修会には初期指導を終えた新規組合員会社の代表者あるいは、これから経営者として会社のカジ取りを行う後継者の方など26名が参加し、四日間という限られた時間の中で、基礎研修でも行う基本訓練やNGP三大信条、経営者心得など、さらには経営管理や経営戦略など濃密な研修が行われました。

この経営者研修会は、これからNGP協同組合の一員として、一番重要な経営者の意識改革、NGPとしての仲間意識の育成が最大の目的でもあります。「NGPは組合員一社一社、またそこで働く社員一人ひとりが、より良いリサイクル部品を生産し、一点でも多くお客様に使ってもらうという同じ理念をもって仕事をしましょう。そのためにはまず、経営者の方にNGPの考え、思いを理解してもらって、社員の方々に伝えてもらわなければなりません。確かに我々はNGPの仲間になった訳ですが、単なる仲良し集団ではなく、お客様のためのプロの集団として、1日も

早く我々と肩を並べて商売できるプロフェッショナルになってもらうために、この経営者研修は他の研修よりも厳しいものになっています。」と青木勝幸理事長は語り、「NGPでは、今後より多くの方にリサイクル部品を活用いただくために生産規模、マーケットシェアを拡大していくプロジェクトを進行していきます。今も全国各地に我々NGPの組合員が大きなりサイクル部品生産工場を新設して、生産力を強化していますが、今後は更にマーケットを大きくするためには、今回、経営者研修会を受講している新しい仲間の力が絶対に必要に



研修生、講師、NGP研修スタッフ一同で記念撮影（vivi熱海自然郷にて）

なってきます。」（中村昌徳組織委員長）4日間の研修最終日には、それぞれ研修を受けた各社の代表から事業計画発表も行われ、必ず目標を必達するという決意表明が行われました。



研修会の最後は研修に参加した各社が青木理事長に決意表明を手渡した



講義ではグループディスカッションなども交えながら経営のノウハウを学ぶ研修

経営者研修会 受講生感想文

本日は、集合時間より1時間早く早朝練習ということで、団体訓練をしましたが、13名の同調がとて難しいことが分かりました。何回やってもダメで、前後左右を気にしながら合わせようとすると、自分がいつの間にかずれている時があり、周りの気にしないと、いけないが基本的に忠実に自分の行動も確実にやっていると、船に例えると真っ直ぐに進んで行かない、ぐまなこが体で身に染みて分かりました。

グループ討議では、各社がどんな思いで入会したのか、また入会してからのNGPに対する思いが聞けてとても参考になりました。

青木理事長のNGPの夢については、20年間やってきた熱い志がとても印象的でした。特に、「入会した時に親身になって手伝って立ち上げていただいた恩は忘れるな!」は本当にその通りだと思います。互いに成長していくという気持ちが伝わりました。

最後に忙しい中、講師の方々にはお時間を割いて経営研修会を実施いただき、ありがとうございました。自分の会社だけでなく、他の会社を教育・指導していく心意気に深謝いたします。

コードNo.312 (株)3R 山田直二

研修最終日は、早朝より体操、団体訓練テストが実施されました。テスト前何回か練習を繰り返し、チームワークもより強固になり、テストも一発一発早く合格しました。我々としては年齢の差を克服し、互いに指摘し合い、合格ラインまでレベルアップできたことは、ある意味で自信となりました。しかし、講師より、「基礎研修と比較するとまだまだ」との評価をいただきました。

座学では「自動車整備業界の動向を知る」について、井上講師から詳細に講義があり、業界動向については直近まで業界で働いておりましたので理解しておりましたが、リサイクル部品の生産会社からの視点ではまた違った気づきがありました。今後の売上増大に向け、販路拡大や経営戦略に全力を挙げていくことを心に誓いました。

最後に青木理事長の講演があり、NGPの将来像について熱くご講義いただき、グループの一員としてさらなる努力をしなければ、事業の発展・拡大は望めないと深く認識いたしました。

また、全国の新しい仲間との交流もでき、大変有意義な4日間でした。

コードNo.413 (株)キューアンドアイ 中村真喜男

今日は最終日の研修を終了して精神的にも肉体的にも非常に疲れました。睡眠時間も少なかったのですが、それでもこれ程心地よい疲れ、達成感を味わったことが味わったことはありません。講師の方々、ありがとうございました。経営者として大切な姿勢、会計事業計画等を学びました。これから、どのようにして会社を成長、拡大させてゆか、方向性が見えてきました。その時、社員の顔が浮かんで来て、心の底にあついてものがこみあげてきました。

もう一つ感じた事は、NGPの一員としての使命感です。朝礼、体操、暗記を経験して辛かったですが自分だけが良くてダメ、仲間全員の気持ちをついに、NGPを良く大きくしてゆかなければなりません。仲間のために、NGPの人間としての社会に対する役割を果たしてゆく覚悟です。

遠い昔、夢を持って一心にがんばった頃の気持ちを思い出しました。

本当に良い研修でした。ありがとうございましたという気持ちです。

コードNo.218 (株)デック 豊田定司

今回の研修で多くの人と出会い、多くの人との絆ができました。NGPの体質を、身をもって感じ取ることができました。

NGPは運命共同体。このことはNGPでやっていく上で最も根底にある、NGPの土台になっているものです。しかし、このことを乱す人間が一部にはいます。その人が何を思っているのかをやっていくのか?私には理解できません。皆で足並みを揃えて前進しようとする時に、その人たちは足を止めます。自分の欲のために。一人でそんな人が混ざることによって、簡単に雰囲気や士気を乱します。

例えば暗記物。努力して覚えようとする人に対しては私もいつまでも付き合います。力になれなかったかもしれませんが、私が覚える方の立場ならば予行演習をしてくれる人がいてくれたならば、どんなに気が強いかと思うと眠れませんでした。

そんな中に仲間というものを私は感じました。それはものすごく自分の中では後々の財産になることを確信しました。こんな人たちと皆で目標を達成できることを願います。思います。したいです。ではなくてします。

コードNo.614 (有)ジーパーツ 竹内俊之

今日で研修最終日となりました。朝から団体行動のテストがあるため、皆で集合の一時間前から集まり練習をしました。なかなかひとつになれず、合格が頂けたのは本当に時間ギリギリになってしまいました。同じ目標に向かって団結する事の難しさを感じました。一人一人が本当に真剣になって行動(実践)、問題提起(ディスカッション)をしなれば目標は遂げられない。青木理事長から頂いたお言葉も、この研修の意義もNGPの一番の武器(強み)である結束力を守り、そしてより強固なものにしていく為に、自分が組織の一員として、何をなすべきか?と考えさせられる研修でした。

中古部品業界がお客様から合格をもらえなければシェアは伸びず、いずれ自分達は世の中から必要とされなくなっていくのだということを教えられました。お客様からしてみれば、一社一社がNGPを代表しているわけですから責任は重大です。私は決意表明した目標をただ売るのでなく、お客様から信頼され、必要とされる会社となることで果たしていきます。NGPの精神を受け継ぎ、目標を達成させることで研修中に真剣に指導して下さいました講師の方々、NGPをここまで発展させてきた先輩方に報いていきます。

コードNo.309 オートパーツ イワイ 山田俊介

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合 通常総会・懇親会を10月21日に開催



次号のNGPニュース17
6月号では、この通常総会の模様を特集でご紹介いたします。

NGP協同組合では、来る10月21日、東京の品川プリンスホテルにおいて第1回

通常総会を開催いたします。

今期は業界初の大員認可の協同組合として新たなスタートをきった一年であり、2005年1月には自動車リサイクル法の本格施行となるなどNGPにとって、また自動車リサイクル業界にとって、様々な変化のある一年でした。またNGPでは、この業界の環境変化にいち早く対応すべく、リサイクル部品の供給ネットワークシステムを自前で開発した「新NGPパー

ツシステム」を今年6月から本格稼働を開始するなど今後の礎となる活動を中心に行ってきました。

NGPでは、今回の通常総会で自動車リサイクル部品市場の活性化とマーケット拡大を実現していくための新プロジェクトの発足も予定しております。

今後もNGPグループの組合員メンバー各位が業界発展を目指す企業集団として邁進してまいります。

NGPが2005年版「環境報告書」を発行

NGP協同組合ではこの程、2005年環境報告書を発行いたしました。

NGPでは2002年10月に自動車リサイクル法施行に向けて環境活動の基本理念として「21世紀宣言」を提唱、「NGP環境方針」を公示し自動車廃車処理における社会的貢献を高めることを目標に活動してまいりました。

さらにNGPではグループとしてまた組合員各社としての環境への取り組み内容を

「環境報告書」にまとめ発行し、社会への情報開示と同時に、環境マネジメントの定着を目指してきました。

今回の2005年環境報告書では、NGPのエコ推進運動の全国統一取組へのチャレンジ21の紹介やリサイクルパーツの利用拡大・啓蒙への取組みなどを写真やイラストを交えながらわかりやすく紹介しています。



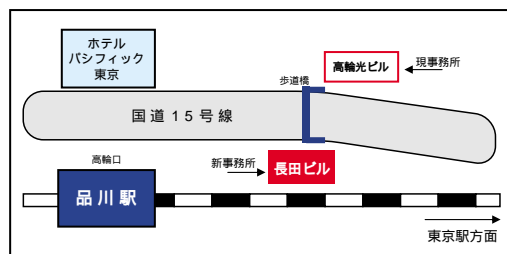
NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局と(株)NGPが事務所を移転

NGP協同組合事務局と(株)NGPIは事務所を移転いたします。

新住所 〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25-33
長田ビル2F

NGP協同組合事務局 代表電話・FAX番号
電話 03-5475-1208 FAX 03-5475-1209

(株)NGP 代表電話・FAX番号
電話 03-5475-1200 FAX 03-5475-1201



なお、代表電話番号、FAX番号はNGP協同組合、(株)NGPともに今までと変更ありません。
新事務所の営業開始日は10月31日となります。

NGP 通信欄

< 組合員情報変更 >

支部	会社名	変更内容	変更後	変更日
北海道	俺まるふく八田商会	住所	北海道上川郡剣淵町元町1番2号 (剣淵町全域の住所変更による変更)	17年10月1日
東北	俺オートセンターNAO	住所	福島県大沼郡会津美里町宮里12 (市町村合併により「高田町字」「美里町」)	17年10月1日
北陸	津田鋼業㈱	住所	福井県越前市不老町第29号7番地 (市町村合併により「今立郡今立町不老」「越前市不老町」)	17年10月1日
東海	太田部品㈱長野営業所	住所	長野県安曇野市豊科南穂高1228-2 齊藤ビル1階2号室 (市町村合併により「南安曇郡豊科町大字」「安曇野市豊科」)	17年10月1日

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目19番26号 高輪光ビル5F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
http://www.ngp.gr.jp

(株)NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目19番26号 高輪光ビル5F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201